

(Windows 8 Version)

Excel 2013-05-上級



体系学習★初歩からのPCテキスト

第 1 章: 複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式.....	6
§ 1-1... 準備と復習.....	6
§ 1-2... 数式を使用する条件付き書式.....	8
§ 1-3... 正の場合と負の場合の表示形式を分ける.....	12
§ 1-4... ゼロの場合の表示形式.....	14
§ 1-5... 場合分け表示形式と文字色の設定.....	15
§ 1-6... 表示形式: それ以外の 3 つまでの場合分け.....	15
§ 1-7... まとめ.....	17
§ 1-8... 練習問題.....	17
§ 1-9... 練習問題.....	20
第 2 章: その他の表示形式.....	21
§ 2-1... 時刻の表示形式.....	21
§ 2-2... 時刻のユーザー定義表示形式.....	23
§ 2-3... コンマ秒以下の設定.....	24
§ 2-4... 時計の表示形式.....	25
§ 2-5... 分数の入力と管理.....	27
§ 2-6... 分数の表示形式.....	28
§ 2-7... 「?」を使った表示形式.....	30
§ 2-8... 分数の表示形式を研究.....	33
§ 2-9... 文字データの作成・「」引用符の利用.....	35
§ 2-10... 文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく.....	36
§ 2-11... まとめ.....	37
§ 2-12... 練習問題.....	37
第 3 章: ゴールシークとシナリオの登録.....	39
§ 3-1... 準備と手動シミュレーション.....	39
§ 3-2... ゴールシークの使用.....	40
§ 3-3... シナリオの登録・複数の値をセルに登録してシミュレーション.....	41
§ 3-4... まとめ.....	45
§ 3-5... 練習問題.....	45
第 4 章: 統合.....	47
§ 4-1... 準備.....	47
§ 4-2... 統合とは?.....	47
§ 4-3... 統合の操作.....	47
§ 4-4... その他の集計(平均).....	49
§ 4-5... 統合表の性質を確認する[リンクされない].....	51
§ 4-6... 自動リンクする統合結果表の作成.....	52
§ 4-7... まとめ.....	54
§ 4-8... 参考: その他の統合の基準.....	54
§ 4-9... 練習問題.....	54
§ 4-10... 練習問題.....	56
第 5 章: ピボットテーブル【Pivot table】.....	57

§5-1… 準備	57
§5-2… ピボットテーブルとは？【Pivot table】	57
§5-3… ピボットテーブルの利用.....	58
§5-4… ピボットテーブルの調整.....	60
§5-5… ピボットテーブルオプション 空白セルに表示する値	63
§5-6… アイテムの入れ替え・並べ替え.....	64
§5-7… ピボットテーブルのデザイン	65
§5-8… 日付フィールドのグループ化.....	66
§5-9… 集計の方法を変える(レコード数を調べる).....	69
§5-10… 計算の種類を変更する(%・割合であらわす)	70
§5-11… 数値フィールドに一括で表示形式を設定する.....	71
§5-12… ピボットテーブルの更新	72
§5-13… 分析元範囲・データソースの変更	73
§5-14… 詳細の表示.....	75
§5-15… 抽出状態からの分析	76
§5-16… ページを分ける	77
§5-17… [スライサー]を利用してフィルターをする.....	78
§5-18… [タイムライン]で日付・時刻のフィルターをする.....	80
§5-19… まとめ.....	81
§5-20… 練習問題.....	81
§5-21… 練習問題.....	85
第6章: ソルバー.....	89
§6-1… 準備	89
§6-2… ソルバー アドインの登録.....	89
§6-3… ソルバーからゴールシークと同様の作業をする	91
§6-4… 【最大値】【最小値】を使用した調査・制約条件	92
§6-5… 制約条件にて整数のみを使用させる	95
§6-6… 複数のセルを同時に変化させる	97
§6-7… 目的セルの優先順序.....	99
§6-8… 精度の確認	102
§6-9… まとめ	103
§6-10… 練習問題.....	104
第7章: フィルターオプション.....	110
§7-1… 準備	110
§7-2… 標準のフィルターの復習.....	111
§7-3… OR条件のフィルターオプションの利用	112
§7-4… AND条件のフィルターオプション	114
§7-5… 絞り込み条件(AND条件)の追加	115
§7-6… 不等号の使用	116
§7-7… ~を含む	117
§7-8… OR条件とAND条件の組み合わせ.....	118

§7-9…	まとめ	119
§7-10…	練習問題	120
§7-11…	練習問題	122
第8章:	高度なグラフとその調整	126
§8-1…	日付軸をテキスト軸に	126
§8-2…	縦軸目盛線と軸位置	128
§8-3…	多項式近似曲線とオプション	130
§8-4…	折れ線グラフのスムージング	131
§8-5…	散布図	132
§8-6…	R-2 乗値(あーるじじょうち)で相関性を調べる	133
§8-7…	ピボットグラフ	134
§8-8…	ピボットテーブルのグループ化	137
§8-9…	まとめ	138
§8-10…	練習問題	138
§8-11…	練習問題	142
第9章:	マクロ 1	145
§9-1…	マクロとは?	145
§9-2…	マクロの登録と実行	146
§9-3…	登録したマクロの削除	148
§9-4…	選択済みの範囲に対して処理をするマクロ	150
§9-5…	マクロ付きファイルの保存	152
§9-6…	クイックアクセスツールバーにマクロを割り当てる	155
§9-7…	フォームコントロール・マクロボタン	158
§9-8…	スピンボタンの作成(フォームコントロール)	160
§9-9…	まとめ	161
§9-10…	練習問題	162
第10章:	マクロ 2	165
§10-1…	絶対参照マクロの復習	165
§10-2…	選択済み範囲に実行するマクロの復習	167
§10-3…	相対参照マクロ	168
§10-4…	ショートカットキーの割り当て	171
§10-5…	Visual Basic Editor でマクロを修正	173
§10-6…	Visual Basic Editor でマクロを複製	175
§10-7…	Visual Basic Editor から RGB 関数を使って色の調整	178
§10-8…	まとめ	179
§10-9…	練習問題	180

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No : excel2013-05-上級-140718
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 -円

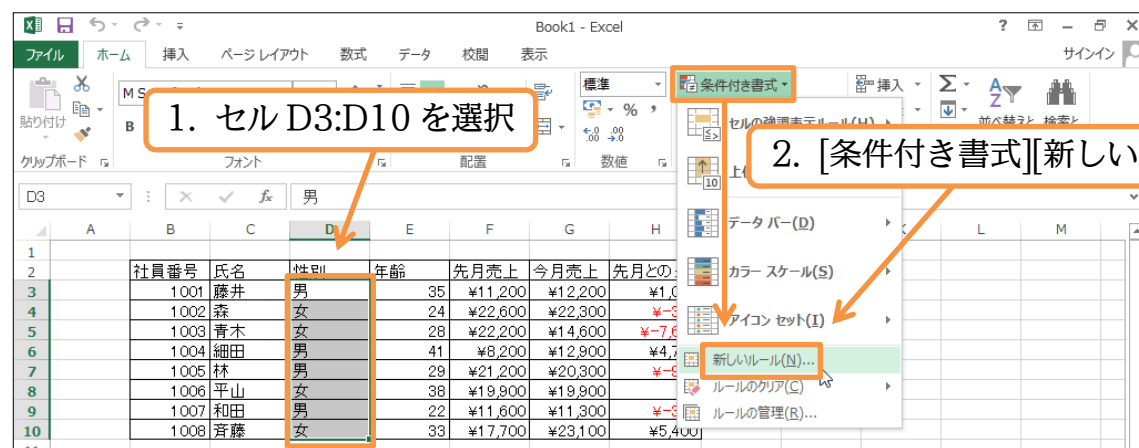
第1章:複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式

§ 1-1…準備と復習

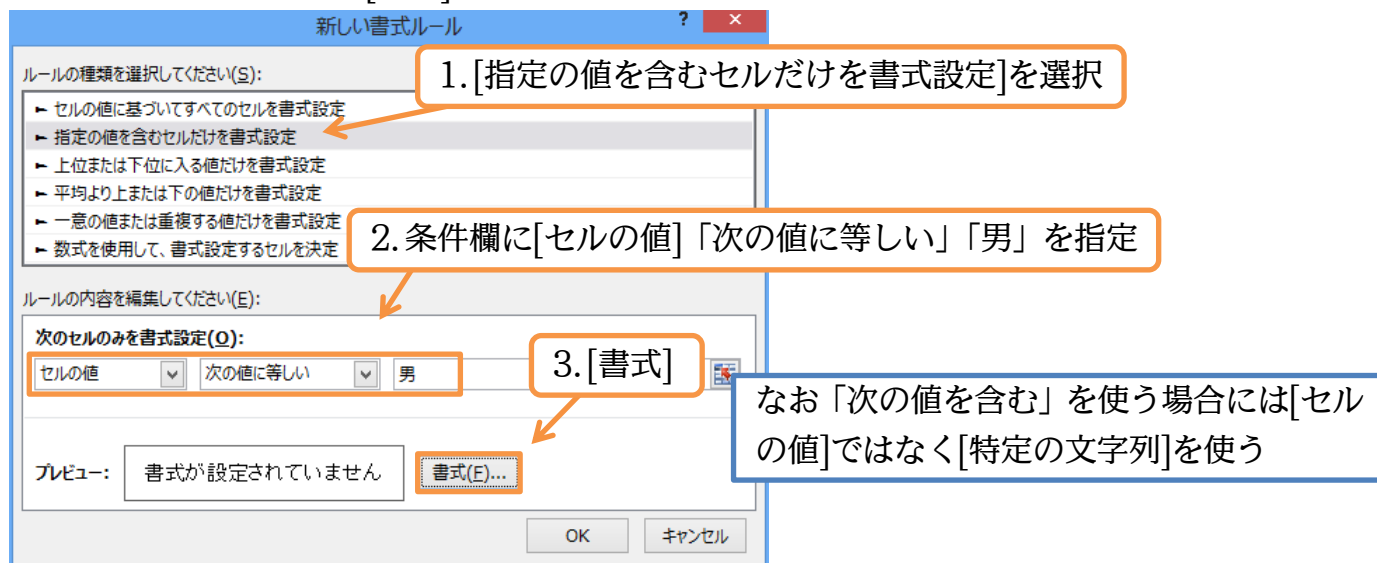
(1) 以下のような表を作成しましょう。H列ではG列の値からF列の値を引いています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差	
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥1,000	
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300	
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600	
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥4,700	
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900	
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥0	
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300	
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥5,400	
11									

(2) 性別欄に条件付き書式を設定します。「男」の場合はフォントの色が「青」になるようにします。



(3) [指定の値を含むセルだけを書式設定]を用い、[セルの値]「次の値に等しい」「男」を指定します。指定後は[書式]をクリックします。



(4) フォントの色を「青」にしてOKします。

セルの書式設定

表示形式: フォント 罫線 塗りつぶし

フォント名(F): MS Pゴシック (見出し), MS Pゴシック (本文), Arial Unicode MS, HGPJ*シックE, HGPJ*シックM, HGP教科書体

スタイル(O): 標準, 斜体, 太字, 太字 斜体

サイズ(S): 6, 8, 9, 10, 11, 12

下線(U):

色(C): Aa あぁ ァア 亜宇

文字飾り: 取り消し線(K), 上付き(E), 下付き(B)

プレビュー: Aaあぁァア亜宇

条件付き書式にはフォントのスタイル、下線、色、および取り消し線が設定できます。

クリア(B), OK, キャンセル

(5) 準備が整いました。OKしましょう。

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次のセルのみを書式設定(O):

セルの値: 次

次の値に等しい

男

プレビュー: Aaあぁァア亜宇

書式(E)...

OK, キャンセル

(6) 性別が「男」の場合、「D列」の[性別]欄に色が付きました。次の項では性別が「男」の場合、左にある「C列」の[氏名]欄に色を付ける予定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥5,400					

§ 1-2…数式を使用する条件付き書式

- (1) 再び「男」の場合に文字色が付くよう設定します。ただし色を付ける欄は C 列の氏名欄です。文字色を設定したい C 列を選択して条件付き書式を使います。

1. セル C3:C10 を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

条件判断の根拠となるセルは D 列にあるが、書式は C 列に適用したい

社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との
1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥1,000
1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300
1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600
1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥4,700
1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900
1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥0
1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300
1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥5,400

- (2) 書式を設定したいセルと、条件判断の根拠となるセルが異なる場合には「数式を使用して、書式設定するセルを決定」を使います。そしてルール欄に選択範囲個所の先頭セル(ここでは C3)にはどんな条件の時に書式を設定するかを論理式で指定します。「D3="男"」と指定します。

1. 「数式を使用して、書式設定するセルを決定」

2. ルール欄に「D3="男"」と指定

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を満たす場合に値を書式設定(Q):

=D3="男"

設定されていません

書式(E)...

OK キャンセル

- (3) 「D3」を指定した際には自動的に絶対参照マークが設定されます。書式を設定するセルは「C3,C4,C5,…(藤井,森,青木)」となっています。条件セルは「D3,D4,D5…(男,女,女)」と変わります。絶対参照のままではすべてのセルで「D3」を条件判断の根拠としてしまいます。条件判断用のセルの行番号が「3→10」と変化するように絶対参照マークを調整しましょう。設定後は[書式]をクリックします。

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位
- 平均より上または
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を入力する場合に値を書式設定(O):

= \$D3 = "男"

プレビュー: 書式が設定されていません

書式(E)...

OK キャンセル

「\$D3」でも「D3」でもかまわない

1. 「\$D\$3」を「\$D3」に

2. [書式]をクリック

- (4) 今回はフォントの色を「緑」にしてOKします。

セルの書式設定

表示形式 フォント 罫線 塗りつぶし

フォント名(F):

スタイル(O):

サイズ(S):

下線(U):

色(C):

文字飾り

取り消し線(K)

上付き(E)

下付き(B)

プレビュー

Aaあぁアア 亜宇

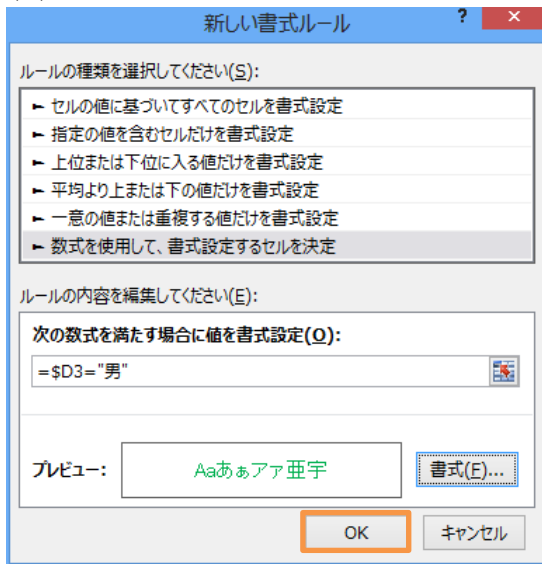
条件付き書式にはフォントのスタイル、下線、色、および取り消し線が設定できます。

クリア(R)

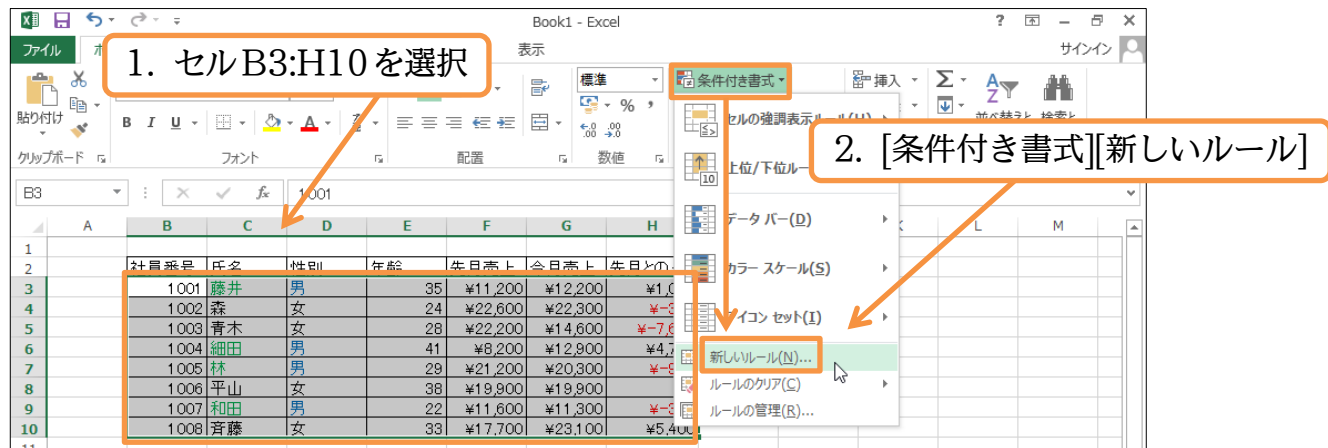
OK キャンセル

フォントの色を「緑」に

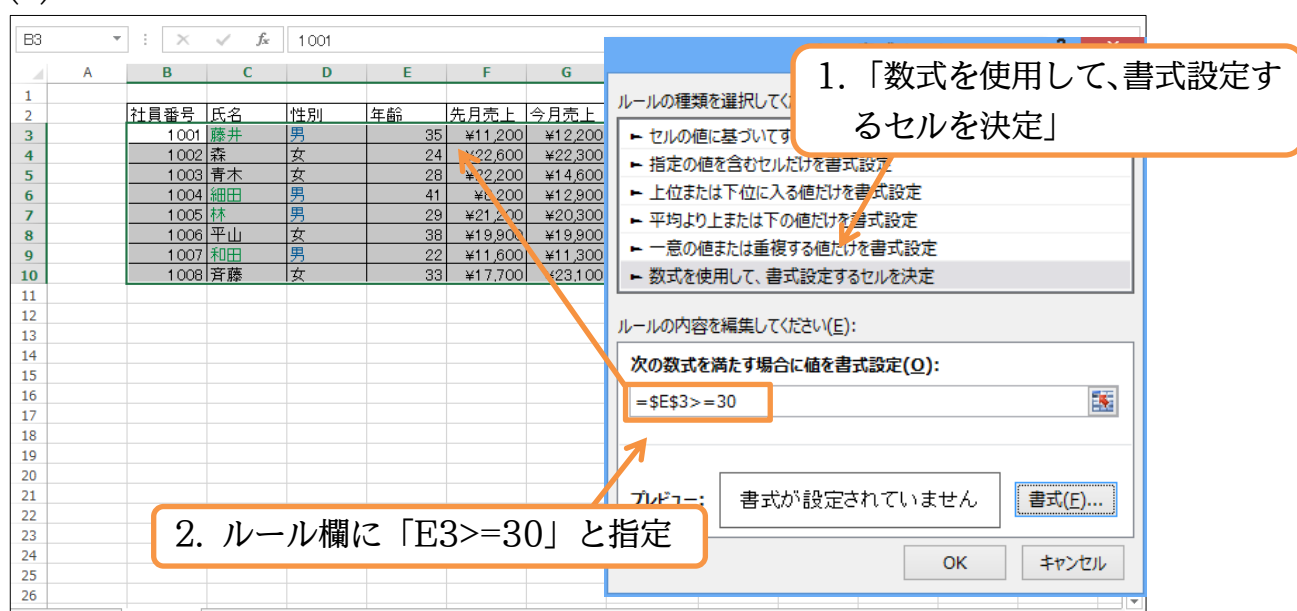
(5) 準備が整いました。OK しましょう。



(6) 書式を設定するセルと条件判断の根拠になる値が入力されているセルとが異なる場合には、「数式を使用して、…」のルールを採用するのです。では練習です。今度は[年齢]が「30 以上」の場合、レコード(行)全体が黄色で塗りつぶされるよう設定します。全レコードを選択して条件付き書式の設定をします。



(7) 先頭セルの B3 を基準に考えます。「E3>=30」という論理式をルールに設定します。



- (8) 各行のE列の値を使って書式を設定するかどうかの判断をします。絶対参照を「\$E\$3」から「\$E3」に変更してから書式の設定をします。

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に
- 平均より上または
- 一意の値または重複する他の値を書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を入力する場合は値を書式設定(O):

=E3>=30

プレビュー: 書式が設定されていません

書式(E)...

OK キャンセル

1. 「\$E\$3」を「\$E3」に

2. [書式]をクリック

各行のE列の数値が30以上になっているかを調査させる

- (9) 【塗りつぶし】の色を「黄」にしてOKします。

セルの書式設定

表示形式 フォント 罫線 **塗りつぶし**

背景色(C):

色なし

パターンの色(A):

自動

パターンの種類(P):

塗りつぶし効果(I)... その他の色(M)...

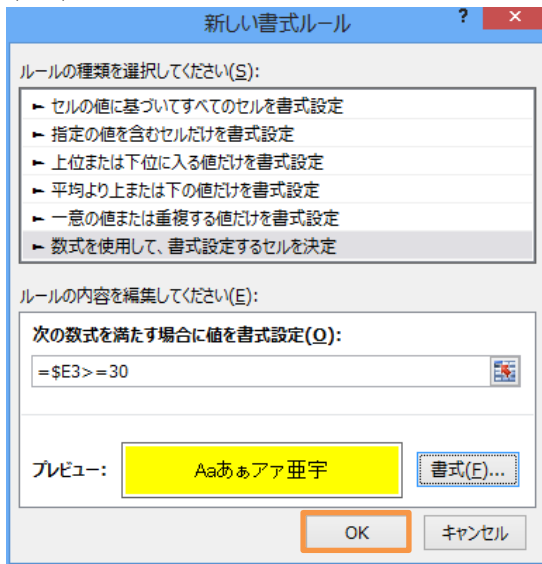
サンプル

クリア(B)

OK キャンセル

【塗りつぶし】の色を「黄」に

(10)準備が整いました。OK しましょう。



(11)[書式設定をしたいセル]と[条件判断の根拠になるセル]が異なる場合の条件付き書式設定方法について学習しました。

	B	C	D	E	F	G	H
1							
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100
11							
12							

§ 1-3…正の場合と負の場合の表示形式を分ける

(1) H 列の表示形式において、プラス(正)の場合には「¥+〇,〇〇〇」と表示されるよう設定します。正の場合と負の場合とで別々の表示形式にするのです。選択してユーザー定義の表示形式を設定します。

2. 表示形式を設定({Ctrl}+[1]も可)

1. H3:H10 を選択

マイナス(負)の場合には「-」記号が付くよう最初から設定されている。今回はプラス(正)の場合には「+」記号が付く設定をする予定。

(2) ユーザー定義の表示形式は「正の場合;負の場合」で分けることができます。間に半角の「;」(セミコロン)を使います。なお、「[赤]」は「赤字にする」の意味です。「¥#,##0;[赤]¥-#,##0」を「¥+#,##0;[赤]¥-#,##0」にしてOKします。

(3) このようにセミコロンで区切れば、正の場合と負の場合とで別のユーザー定義表示形式を設定できるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥+0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	音藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

§ 1-4…ゼロの場合の表示形式

(1) ゼロの場合には「¥±0」と表示されるよう設定します。「正の場合;負の場合」のあとでさらに「;」で区切ると「ゼロの場合」が指定できるようになります。

「正の場合;負の場合;ゼロの場合」となるのです。セル H3:H10 に対して再度表示形式の設定をし、ゼロの場合を追加します。ただし「±」は計算用記号ではないので「"±"」とする必要があります。

1. H3:H10 に対して再度表示形式の設定

2. ユーザー定義の表示形式を「¥+#,###0;[赤]¥-#,###0;¥"±"0」に

「¥」マークは「"」で囲む必要がない特別な記号。ただし「半角」で入力する必要がある。

(2) セル H8 に注目します。「¥±0」となっています。

さらに「;」で区切ると「文字列の場合」の指定ができる。
「正の場合;負の場合;ゼロの場合;文字列の場合」となる。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

§ 1-5…場合分け表示形式と文字色の設定

- (1) 表示形式設定時に、各場合分けブロックの先頭に半角の大カッコ「[」で色名を囲って指定することで文字色が設定できます。使える色名は「黒白赤緑青水紫黄」です。ここでは H3:H10 の正の場合に「青」、ゼロの場合に「緑」になるよう設定してください。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

標準
数値
通貨
会計
日付
時刻
パーセンテージ
分数
指数
文字列
その他
ユーザー定義

種類(I):

サンプル
¥+1,000

[青]¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥±"0

h:mm
h:mm:ss
h"時"mm"分"
h"時"mm"分"ss"秒"
yyyy/m/d h:mm
mm:ss
mm:ss.0
@
[h]:mm:ss
¥+#,##0;[赤]¥-#,##0
¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥±"0

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK キャンセル

H3:H10 の表示形式を
「 [青]¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥±"0 」に

正の場合に「青」、負の場合に
「赤」、ゼロの場合に「緑」になるよう設定

- (2) 正の場合、負の場合、ゼロの場合に別々に色が付きました。

H3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

使える色は
「黒白赤緑青水紫黄」

§ 1-6…表示形式：それ以外の 3 つまでの場合分け

- (1) F 列に「20000 以上ならば青字、それ以外は緑字」の表示形式を設定します。選択してから表示形式の設定をします。

Book1 - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数値 データ 校閲 表示

MS Pゴシック 11 A A

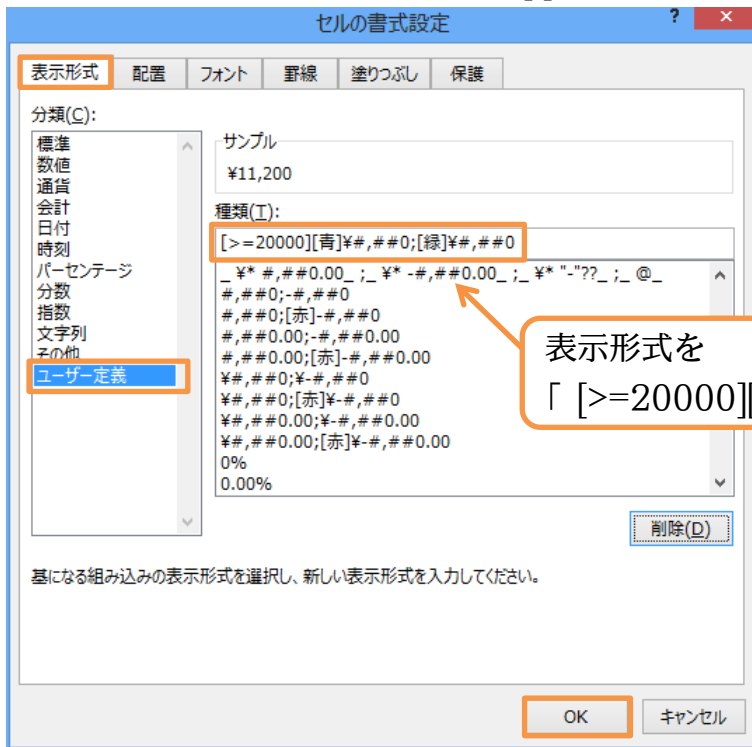
通貨

2. 表示形式を設定({Ctrl}+[1]も可)

1. F3:F10 を選択

F3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

(2) 表示形式では「条件 1;それ以外」か「条件 1;条件 2;それ以外」のように設定できます。条件は先頭に半角の大カッコ「>」で囲って指定します。色の指定は条件に続けます。



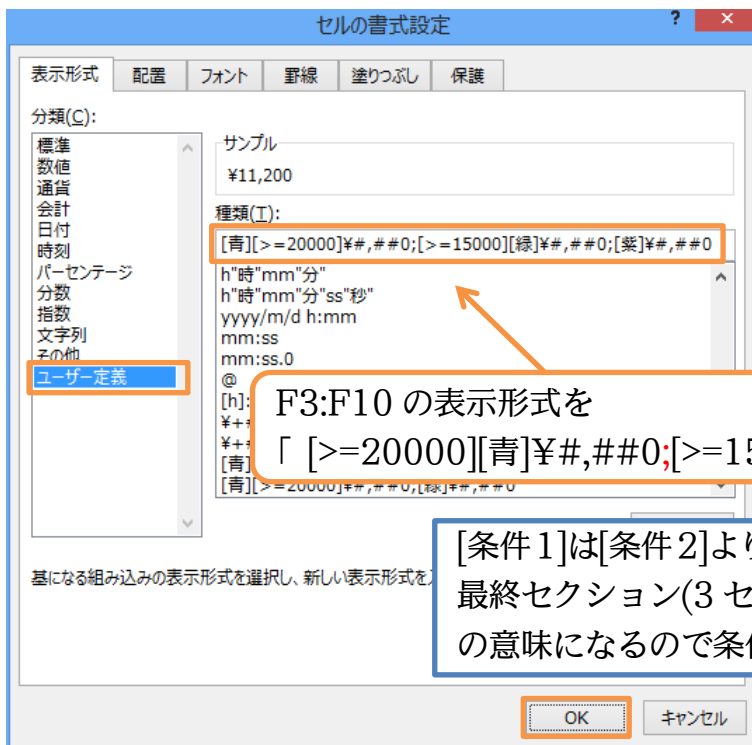
条件は必ず半角で指定

表示形式を「>=20000[青]¥#,###0;[緑]¥#,###0」に

(3) 「20000 以上ならば青字、それ以外は緑字」の通貨スタイルになりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	28	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,800	¥19,900	¥+100					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

(4) 3つの場合分けもできます。「条件 1;条件 2;それ以外」となります。再度 F 列の数値に表示形式の設定をします。「20000 以上ならば青字、15000 以上ならば緑字、それ以外は紫字」とします。



F3:F10 の表示形式を「>=20000[青]¥#,###0;[>=15000][緑]¥#,###0;[紫]¥#,###0」に

[条件 1]は[条件 2]よりも優先して表示形式が設定される。最終セクション(3 セクション目)は自動的に「それ以外」の意味になるので条件は指定しない(指定不可)

(5) 場合分けによる表示形式を設定することができました。完成後はこのファイルは閉じます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300					
5		1003	青木	女	26	¥22,200	¥14,600	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥5,200	¥12,900	¥+4,700					
7		1005	林	男	29	¥21,200	¥20,300	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0					
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300					
10		1008	音藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400					
11													

§ 1-7…まとめ

- ◆ 条件付き書式において、書式を設定するセルと判断の根拠となるセルが別である場合には「数式を使用して、書式設定するセルを決定」を使います。
- ◆ ユーザー定義の表示形式において、プラスの場合とマイナスの場合とで分ける場合は「正の場合;負の場合」とします。0 の場合についても定義するならば「正の場合;負の場合;ゼロの場合」とします。
- ◆ 正負以外の場合分けを使うならば「A の場合;それ以外」「A の場合;B の場合;それ以外」と設定できます。各場合は[>=50000]のように指定します。
- ◆ 場合分けを使うユーザー定義の表示形式において、文字色を指定するならば[赤]のように指定します。使える色名は「黒白赤緑青水紫黄」です。

§ 1-8…練習問題

(1) 以下のような計算表を作成しましょう。E,G,J 列は計算セルです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		日付	天気	気温	前日差	入場者	前日差		平均気温	27.3	
3		2013/8/1	曇り	25.0		521			最高気温	32.3	
4		2013/8/2	晴れ	27.9	2.9	479	-42				
5		2013/8/3	曇り	28.1	0.2	672	193		平均入場者	576.2	
6		2013/8/4	晴れ	28.3	0.2	550	-122		最高入場者	713	
7		2013/8/5	雨	21.9	-6.4	709	159				
8		2013/8/6	晴れ	31.7	9.8	458	-251				
9		2013/8/7	晴れ	31.9	0.2	713	255				
10		2013/8/8	雨	24.4	-7.5	666	-47				
11		2013/8/9	曇り	24.4	0.0	488	-178				
12		2013/8/10	晴れ	32.3	7.9	632	144				
13		2013/8/11	雨	22.7	-9.6	697	65				
14		2013/8/12	曇り	26.8	4.1	464	-233				
15		2013/8/13	晴れ	28.0	1.2	532	68				
16		2013/8/14	晴れ	28.2	0.2	486	-46				
17											

(2) F 列では「〇〇人」と表示させます。G 列ではプラスの場合に青字で「+〇〇人」、マイナスの場合に赤字で「-〇〇人」と表示させます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		日付	天気	気温	前日差	入場者	前日差		平均気温	27.3	
3		2013/8/1	曇り	25.0		521人			最高気温	32.3	
4		2013/8/2	晴れ	27.9	2.9	479人	-42人				
5		2013/8/3	曇り	28.1	0.2	672人	+193人		平均入場者	576.2	
6		2013/8/4	晴れ	28.3	0.2	550人	-122人		最高入場者	713	
7		2013/8/5	雨	21.9	-6.4	709人	+159人				
8		2013/8/6	晴れ	31.7	9.8	458人	-251人				
9		2013/8/7	晴れ	31.9	0.2	713人	+255人				
10		2013/8/8	雨	24.4	-7.5	666人	-47人				
11		2013/8/9	曇り	24.4	0.0	488人	-178人				
12		2013/8/10	晴れ	32.3	7.9	632人	+144人				
13		2013/8/11	雨	22.7	-9.6	697人	+65人				
14		2013/8/12	曇り	26.8	4.1	464人	-233人				
15		2013/8/13	晴れ	28.0	1.2	532人	+68人				
16		2013/8/14	晴れ	28.2	0.2	486人	-46人				
17											

(3) E 列ではプラスの場合に「+」記号を表示させます。ゼロの場合は「…」(三点リーダー)を表示させます。D 列では「28.5 以上」の場合に「↑」記号が、「25.5~28.5」の場合に「→」記号が、それ以下は「↓」記号が表示されるようにします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		日付	天気	気温	前日差	入場者	前日差		平均気温	27.3	
3		2013/8/1	曇り	↓25.0		521人			最高気温	32.3	
4		2013/8/2	晴れ	→27.9	+2.9	479人	-42人				
5		2013/8/3	曇り	→28.1	+0.2	672人	+193人		平均入場者	576.2	
6		2013/8/4	晴れ	→28.3	+0.2	550人	-122人		最高入場者	713	
7		2013/8/5	雨	↓21.9	-6.4	709人	+159人				
8		2013/8/6	晴れ	↑31.7	+9.8	458人	-251人				
9		2013/8/7	晴れ	↑31.9	+0.2	713人	+255人				
10		2013/8/8	雨	↓24.4	-7.5	666人	-47人				
11		2013/8/9	曇り	↓24.4	…	488人	-178人				
12		2013/8/10	晴れ	↑32.3	+7.9	632人	+144人				
13		2013/8/11	雨	↓22.7	-9.6	697人	+65人				
14		2013/8/12	曇り	→26.8	+4.1	464人	-233人				
15		2013/8/13	晴れ	→28.0	+1.2	532人	+68人				
16		2013/8/14	晴れ	→28.2	+0.2	486人	-46人				
17											

- (4) C列が「雨」の場合は黄色で塗りつぶします。次にC列が「曇り」の場合は「B列」を薄い緑(左から5番目)で塗りつぶします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		日付	天気	気温	前日差	入場者	前日差		平均気温	27.3	
3		2013/8/1	曇り	↓25.0		521人			最高気温	32.3	
4		2013/8/2	晴れ	→27.9	+2.9	479人	-42人				
5		2013/8/3	曇り	→28.1	+0.2	672人	+193人		平均入場者	576.2	
6		2013/8/4	晴れ	→28.3	+0.2	550人	-122人		最高入場者	713	
7		2013/8/5	雨	↓21.9	-6.4	709人	+159人				
8		2013/8/6	晴れ	↑31.7	+9.8	458人	-251人				
9		2013/8/7	晴れ	↑31.9	+0.2	713人	+255人				
10		2013/8/8	雨	↓24.4	-7.5	666人	-47人				
11		2013/8/9	曇り	↓24.4	...	488人	-178人				
12		2013/8/10	晴れ	↑32.3	+7.9	632人	+144人				
13		2013/8/11	雨	↓22.7	-9.6	697人	+65人				
14		2013/8/12	曇り	→26.8	+4.1	464人	-233人				
15		2013/8/13	晴れ	→28.0	+1.2	532人	+68人				
16		2013/8/14	晴れ	→28.2	+0.2	486人	-46人				
17											

- (5) 一旦、条件付き書式をクリアします。それからF列(入場者)が「500以下」の行が黄色で塗りつぶされるようにします。またJ6(最高入場者)と等しい行が薄い緑で塗りつぶされるようにします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		日付	天気	気温	前日差	入場者	前日差		平均気温	27.3	
3		2013/8/1	曇り	↓25.0		521人			最高気温	32.3	
4		2013/8/2	晴れ	→27.9	+2.9	479人	-42人				
5		2013/8/3	曇り	→28.1	+0.2	672人	+193人		平均入場者	576.2	
6		2013/8/4	晴れ	→28.3	+0.2	550人	-122人		最高入場者	713	
7		2013/8/5	雨	↓21.9	-6.4	709人	+159人				
8		2013/8/6	晴れ	↑31.7	+9.8	458人	-251人				
9		2013/8/7	晴れ	↑31.9	+0.2	713人	+255人				
10		2013/8/8	雨	↓24.4	-7.5	666人	-47人				
11		2013/8/9	曇り	↓24.4	...	488人	-178人				
12		2013/8/10	晴れ	↑32.3	+7.9	632人	+144人				
13		2013/8/11	雨	↓22.7	-9.6	697人	+65人				
14		2013/8/12	曇り	→26.8	+4.1	464人	-233人				
15		2013/8/13	晴れ	→28.0	+1.2	532人	+68人				
16		2013/8/14	晴れ	→28.2	+0.2	486人	-46人				
17											

§ 1-9…練習問題

(1) 以下のような表を作成しましょう。E,F,I列は計算セルです。

目標体重は「身長×身長×22÷10000」で算出します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		名前	身長	体重	目標体重	目標比		最高身長	185.0	
3		高野	182.6	69.0	73.4	94.1%		最高体重	74.5	
4		和田	156.8	58.2	54.1	107.6%		最低身長	156.0	
5		小野	156.0	45.5	53.5	85.0%		最低体重	45.5	
6		岩瀬	161.3	66.6	57.2	116.4%				
7		宮ヶ瀬	185.0	73.0	75.3	97.0%				
8		堀田	182.8	74.5	73.5	101.3%				
9										

(2) 目標比が105%以上(1.05倍以上)の場合は青字で「↑」記号が付くようにします。95%～105%の場合は紫字で「→」記号が付くようにします。それ以下は赤字で「↓」記号が付くようにします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		名前	身長	体重	目標体重	目標比		最高身長	185.0	
3		高野	182.6	69.0	73.4	94.1%↓		最高体重	74.5	
4		和田	156.8	58.2	54.1	107.6%↑		最低身長	156.0	
5		小野	156.0	45.5	53.5	85.0%↓		最低体重	45.5	
6		岩瀬	161.3	66.6	57.2	116.4%↑				
7		宮ヶ瀬	185.0	73.0	75.3	97.0%→				
8		堀田	182.8	74.5	73.5	101.3%→				
9										

(3) 体重が60キロ以下の人の[名前]欄を青字にします。また目標体重より5キロ以上オーバーの人は赤字にします(実際の[体重]が[目標体重+5]以上の場合、と考える)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		名前	身長	体重	目標体重	目標比		最高身長	185.0	
3		高野	182.6	69.0	73.4	94.1%↓		最高体重	74.5	
4		和田	156.8	58.2	54.1	107.6%↑		最低身長	156.0	
5		小野	156.0	45.5	53.5	85.0%↓		最低体重	45.5	
6		岩瀬	161.3	66.6	57.2	116.4%↑				
7		宮ヶ瀬	185.0	73.0	75.3	97.0%→				
8		堀田	182.8	74.5	73.5	101.3%→				
9										

(4) 最高身長の人を行を黄色で塗りつぶします。最低身長の人を行を薄い緑で塗りつぶします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		名前	身長	体重	目標体重	目標比		最高身長	185.0	
3		高野	182.6	69.0	73.4	94.1%↓		最高体重	74.5	
4		和田	156.8	58.2	54.1	107.6%↑		最低身長	156.0	
5		小野	156.0	45.5	53.5	85.0%↓		最低体重	45.5	
6		岩瀬	161.3	66.6	57.2	116.4%↑				
7		宮ヶ瀬	185.0	73.0	75.3	97.0%→				
8		堀田	182.8	74.5	73.5	101.3%→				
9										

第2章:その他の表示形式

§ 2-1…時刻の表示形式

(1) 「Sheet1」 に以下の表を作成してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース数	販売ホール数	
3		川瀬					オレンジショコラ				
4		森					アップルパイショート				
5		細川					アップルパイハーフ				
6		平均					ピーチババロア				
7											
8		出勤時間	退勤時間	勤務時間							
9											
10											
11											

(2) セル C3 に時刻データ「1:35:14(1 時間 35 分 14 秒)」を入力します。「:」は半角で入力しましょう。

セル C3 に半角で「1:35:14」を入力

(3) 続けて「2:0:8」と入力します。表記は「2:00:08」となります。

セル C4 には「2:0:8」を入力

(4) 次は「1 時間 51 分 0 秒」を作成します。秒が「0」の場合は省略が可能です。「1:51」と入力します。

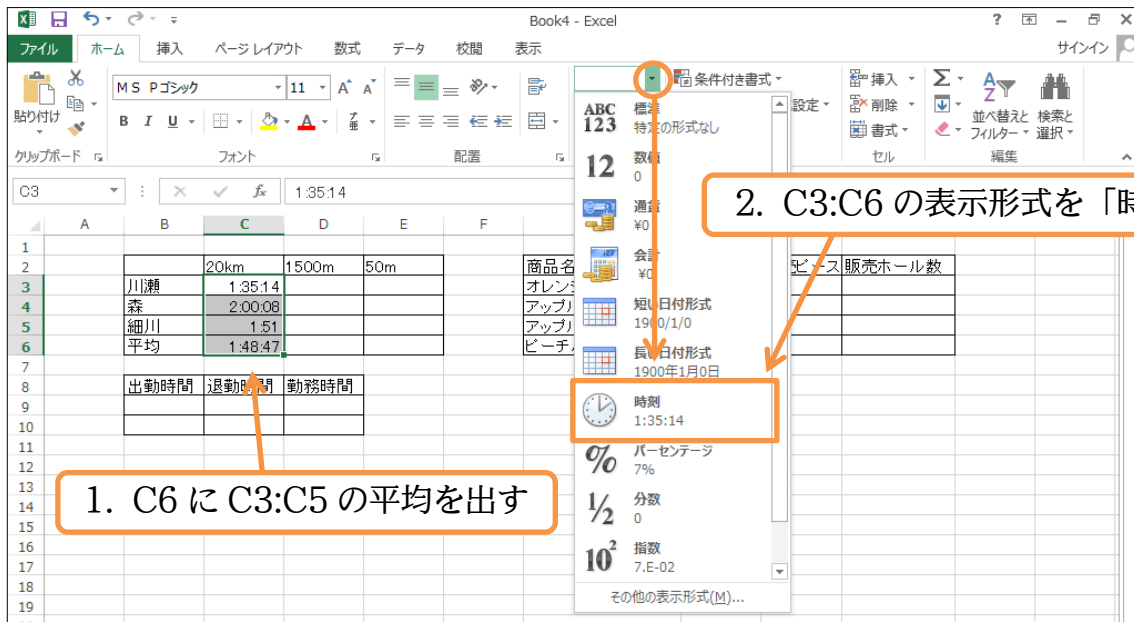
「時・分」は省略できないが、「秒」は省略可能。

セル C5 には「1:51」を入力

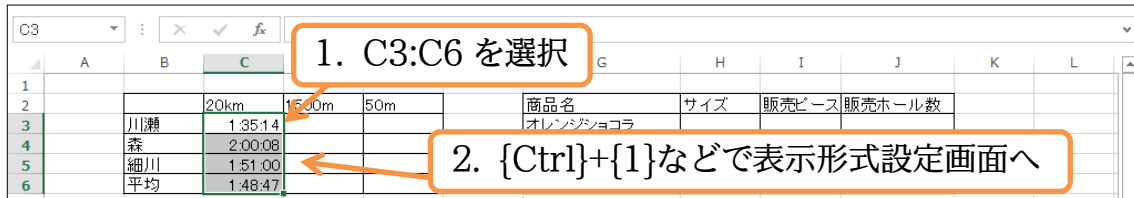
(5) 秒を省略すると「0 秒」扱いになります。表示形式はあとで調整します。

入力が完了した C5 の内容を数式バーでチェック

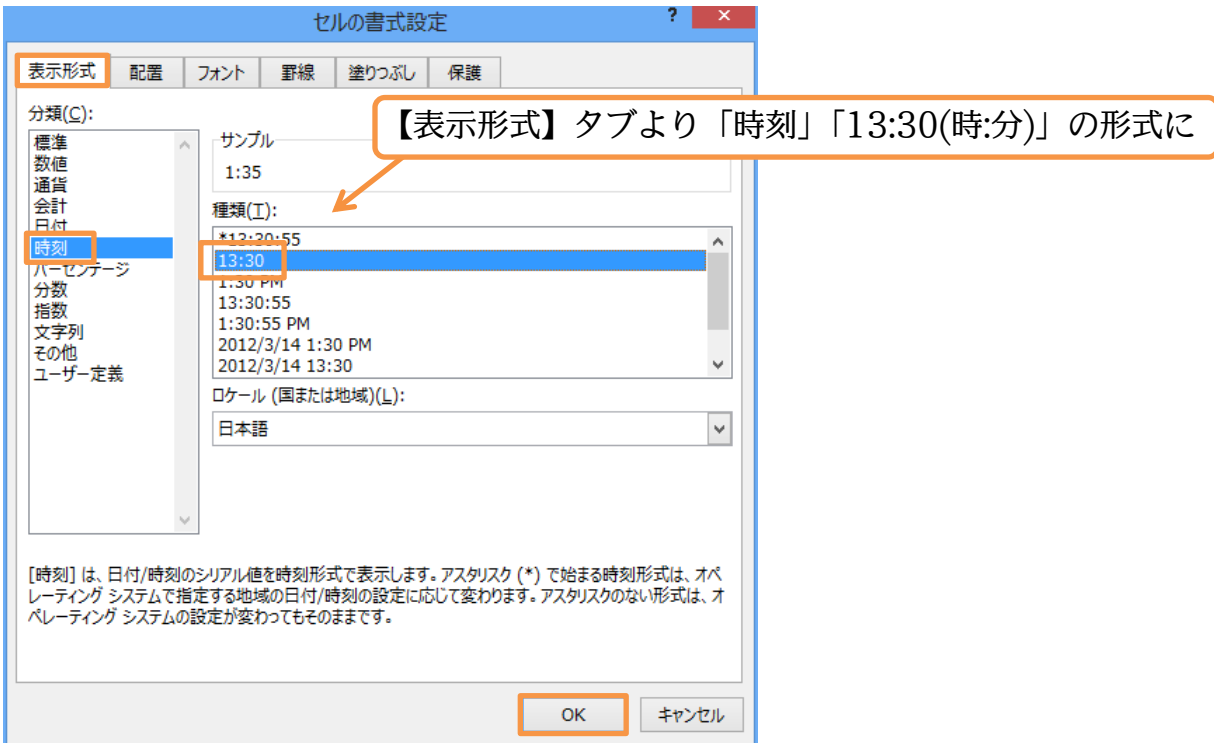
(6) C6にはC3:C5の平均を出してください。さてC3:C6の表示形式を統一します。「時刻」にしましょう。「時:分:秒」になります。



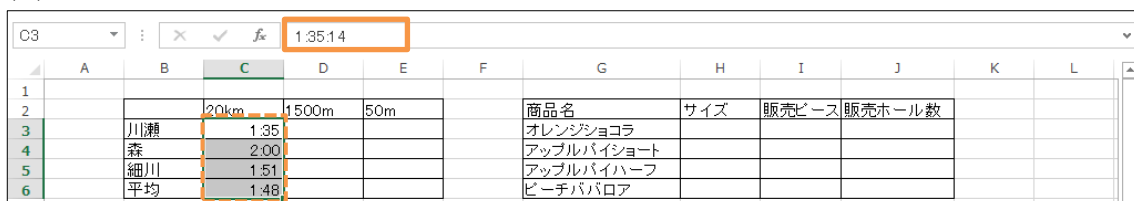
(7) 秒を隠すこともできます。C3:C6を選択した状態で[セルの書式設定]ダイアログボックスを表示します({Ctrl}+[1]など)。



(8) 【表示形式】タブより「時刻」「13:30(時:分)」の形式にしましょう。秒が隠れます。



(9) 秒情報は隠すこともできますが消えたわけではありません。数式バーで確認できます。



§ 2-2…時刻のユーザー定義表示形式

- (1) D列には「分と秒」だけを入力します。その場合は時刻に「0」を指定する必要があります。D3に半角で「0:7:54」を入力しましょう。

D3	:	x	✓	f	0:7:54		
1	A	B	C	D	J	K	L
2			20km	1500m	50		
3		川瀬	1.35	0:7:54			
4		森	2.00				
5		細川	1.51				
6		平均	1.48				
7							

D3に半角で「0:7:54」を入力

「時・分」は省略できない(ただし後述の「コンマ秒」を使用した場合は「時」の省略が可能)

- (2) 続けて「0:11:8」、「0:10:0(0:10だけでも可)」を入力します。D6にはD3:D5の平均を出します。次に表示形式の設定をし、「時」の部分を目隠す予定です。

D3	:	x	✓	f	0:07:54		
1	A	B	C	D			
2			20km	1500m	50m		
3		川瀬	1.35	0:07:54		商品名	サイズ
4		森	2.00	0:11:08		オレンジショコラ	販売ピース
5		細川	1.51	0:10:00			販売ホール数
6		平均	1.48	0:09:41			
7							

1. 「0:11:8」、「0:10:0」と入力。D6にはD3:D5の平均を出す。

2. D3:D6に対して表示形式の設定({Ctrl}+[1]など)

- (3) 詳細な設定はユーザー定義を利用します。時は「h」、分は「m」、秒は「s」です。常時2桁表示させる場合は記号を重ねます。半角の「:」は例外的に「"」で囲む必要はありません。今回は「m:ss」を指定しましょう。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

標準: 7:54

種類(I):

- m:ss
- d-mmm-yy
- d-mmm
- mmm-yy
- h:mm AM/PM
- h:mm:ss AM/PM
- h:mm
- h:mm:ss
- h"時"mm"分"
- h"時"mm"分"ss"秒"
- yyyy/m/d h:mm
- mm:ss

ユーザー定義の表示形式「m:ss」を指定

h→時…hourの頭文字
m→分…minuteの頭文字
s→秒…secondの頭文字

OK キャンセル

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

- (4) なお「m:ss」ではなく「mm:ss」とすると「07:54」のように表示されます。

D3	:	x	✓	f	0:07:54							
1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
3		川瀬	1.35	7:54			オレンジショコラ					
4		森	2.00	11:08			アップルパイショート					
5		細川	1.51	10:00			アップルパイハーフ					
6		平均	1.48	9:41			ピーチパバロア					
7												

(5) 練習です。「07分54秒」のように表示されるよう設定してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
3		川瀬	1.35	07分54秒			オレンジショコラ					
4		森	2.00	11分08秒			アップルパイショート					
5		細川	1.51	10分00秒			アップルパイハーフ					
6		平均	1.48	08分41秒			ピーチババロア					
7												

§ 2-3…コンマ秒以下の設定

(1) コンマ秒以下の時刻データを入力する際は、「時:分:秒.小数」のように、半角「.」のあとに数値を入力します。E3には「0:0:7.5」と入力します。自動的にゼロである「時」が隠れ、「00:07.5」と表示されます。「0分7秒5」の意味です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
3		川瀬	1.35	07分54秒	0:0:7.5		オレンジショコラ					
4		森	2.00	11分08秒			アップルパイショート					
5		細川	1.51	10分00秒			アップルパイハーフ					
6		平均	1.48	08分41秒			ピーチババロア					
7												

(2) 続けて「11.4秒」「10.0秒」の入力を行います。E6には平均値を出します。それから表示形式の設定で「分」情報を隠す予定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
3		川瀬	1.35	07分54秒	00:07.5		オレンジショコラ					
4		森	2.00	11分08秒	00:11.4		アップルパイショート					
5		細川	1.51	10分00秒	00:10.0		アップルパイハーフ					
6		平均	1.48	08分41秒	00:08.6		ピーチババロア					
7												

(3) 分情報を非表示にし、秒情報を常時2桁で表示させます。コンマ以下も2桁表示させます。「ss.00」の設定をしましょう。

セルの書式設定

表示形式 | 配置 | フォント | 罫線 | 塗りつぶし | 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

種類(I):

- サンプル
- 07.50
- 種類(I):
- ss.00
- h:mm
- h:mm:ss
- h"時"mm"分"
- h"時"mm"分"ss"秒"
- yyyy/m/d h:mm
- mm:ss
- mm:ss.0
- @
- [h]:mm:ss
- [\$-F400]h:mm:ss AM/PM
- h:mm;@

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK | キャンセル

(4) タイム計測に関する表示形式を学習しています。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2			20km	1500m	50m		商品名
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		オレンジショコ
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイ
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		アップルパイ
6		平均	1.48	09分41秒	09.68		ピーチパロア

(参考)原則「時」の入力省略はできないが、コンマ秒を使って「分:秒.0」のように入力すると「0 時間」で処理される

§ 2-4…時計の表示形式

(1) 引き続き時刻に関する表示形式を学習します。B9に「9:18」、B10に「16:50」を入力します。これからこの時刻を「時・分」ともに2桁表示させる予定です(例→09:18)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		オレンジショコ					
4		森	2.00	11分08秒								
5		細川	1.51	10分00秒								
6		平均	1.48	09分								
7												
8		出勤時間	退勤時間	勤務時間								
9		9:18										
10		16:50										

B9に「9:18」、B10に「16:50」を入力し、表示形式の設定

(2) 「h」を重ねれば時間の部分が2桁表示になります。「hh:mm」と指定しましょう。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

種類(I):

- サンプル
- 09:18
- hh:mm
- m/d/yy
- d-mmm-yy
- d-mmm
- mmm-yy
- h:mm AM/PM
- h:mm:ss AM/PM
- h:mm
- h:mm:ss
- h"時"mm"分"
- h"時"mm"分"ss"秒"
- yyyy/m/d h:mm

ユーザー定義の表示形式「hh:mm」を指定

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

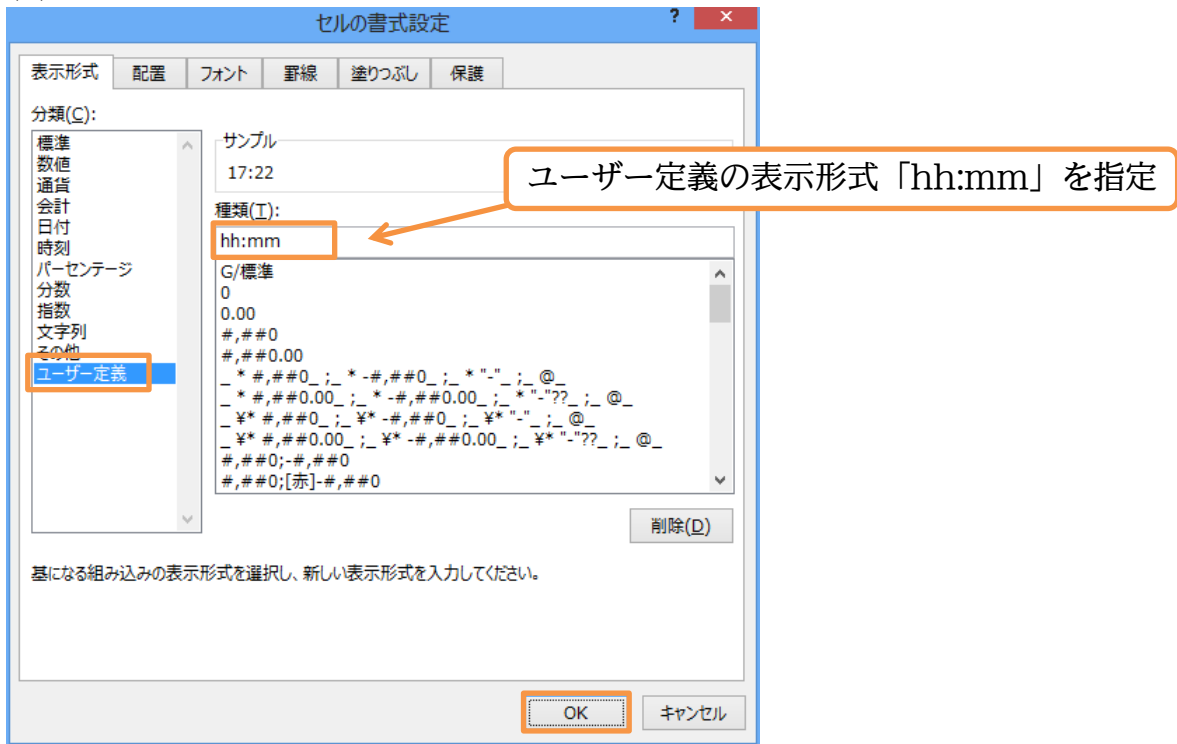
OK キャンセル

(3) 続けてC列には「17:22」「27:16」と入力します。1日をオーバーした場合はそのまま25時間以上で入力します。入力後はこれらを調整して統一させます。

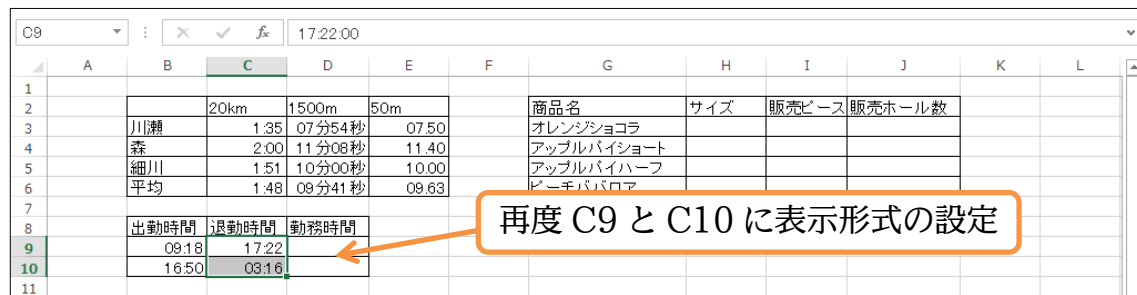
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			20km	1500m	50m							
3		川瀬	1.35	07分54秒								
4		森	2.00	11分08秒								
5		細川	1.51	10分00秒								
6		平均	1.48	09分41秒								
7												
8		出勤時間	退勤時間	勤務時間								
9		09:18	17:22									
10		16:50	27:16:00									

C9に「17:22」、C10に「27:16」を入力し、表示形式の設定

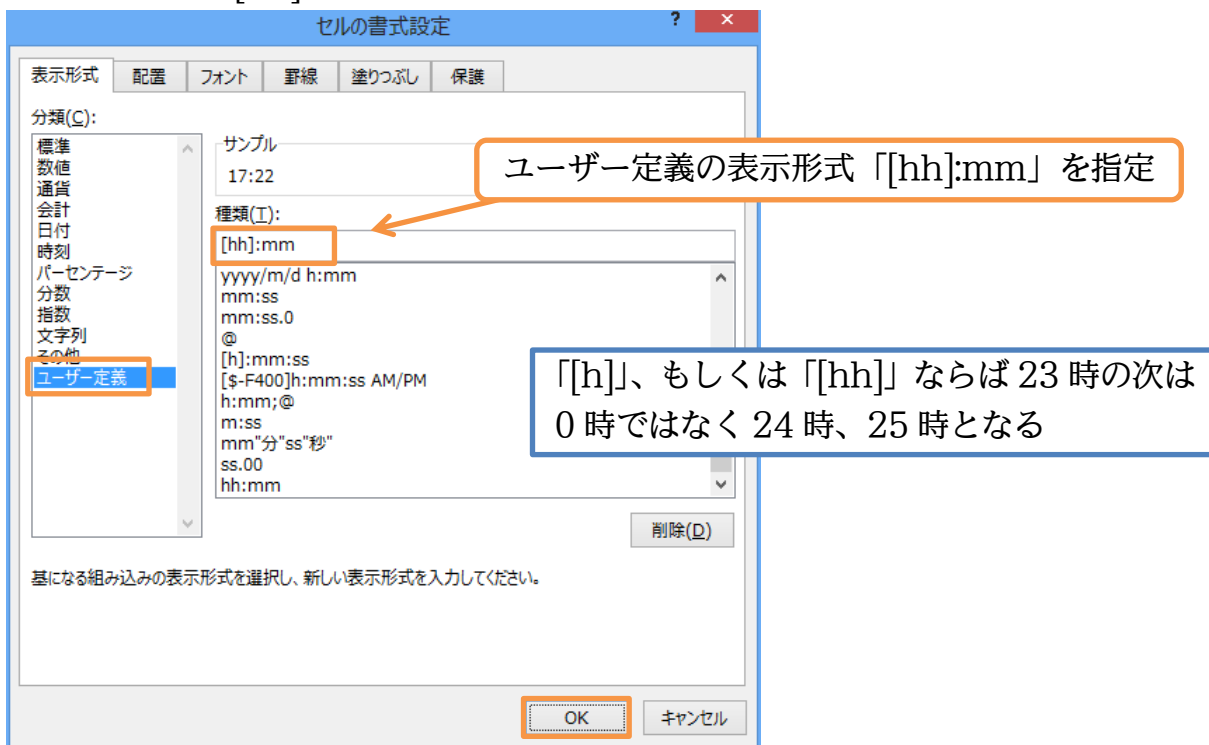
(4) B列と同様「hh:mm」と指定しましょう。



(5) ところが「27」時ではなく翌日ということで「03」時で表示されてしまいました。これから訂正します。



(6) 「hh」では24時以降の場合0時に戻ってしまいます。戻さないで表記する場合は「[h]」もしくは「[hh]」とします。今回は2桁にします。



- (7) 「27」時で表記されました。なお 24 時を超す日付の場合、数式バーでチェックすると「1900/1/1」の時刻で管理されていることがわかります。ちなみに通常の時刻は「1900/1/0」で管理されています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
2							オレンジショコラ					
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		アップルパイショート					
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイ-half					
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		ピーチパバロア					
6		平均	1.48	09分41秒	09.63							
7												
8		出勤時間	退勤時間	勤務時間								
9		09:18	17:22									
10		16:50	27:16									
11												

なお 60 分以上を作るならば「[mm]」、
60 秒以上を作るならば「[s s]」などを使う

- (8) 練習です。D 列に引き算で勤務時間を出します。「08 時間 04 分」のように表記してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
2							オレンジショコラ					
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		アップルパイショート					
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイ-half					
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		ピーチパバロア					
6		平均	1.48	09分41秒	09.63							
7												
8		出勤時間	退勤時間	勤務時間								
9		09:18	17:22	08時間04分								
10		16:50	27:16	10時間26分								
11												

D 列に引き算で勤務時間を表示。
「08 時間 04 分」のように表記する。

§ 2-5…分数の入力と管理

- (1) セル H3 に分数「1/6」を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
2							オレンジショコラ	1/6				
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		アップルパイショート					
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイ-half					
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		ピーチパバロア					
6		平均	1.48	09分41秒	09.63							
7												

セル H3 に分数「1/6」を入力

- (2) しかし「○/▲」と入力すると日付になってしまいます。一旦 H3 は消去してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
2							オレンジショコラ	1月6日				
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		アップルパイショート					
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイ-half					
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		ピーチパバロア					
6		平均	1.48	09分41秒	09.63							
7												

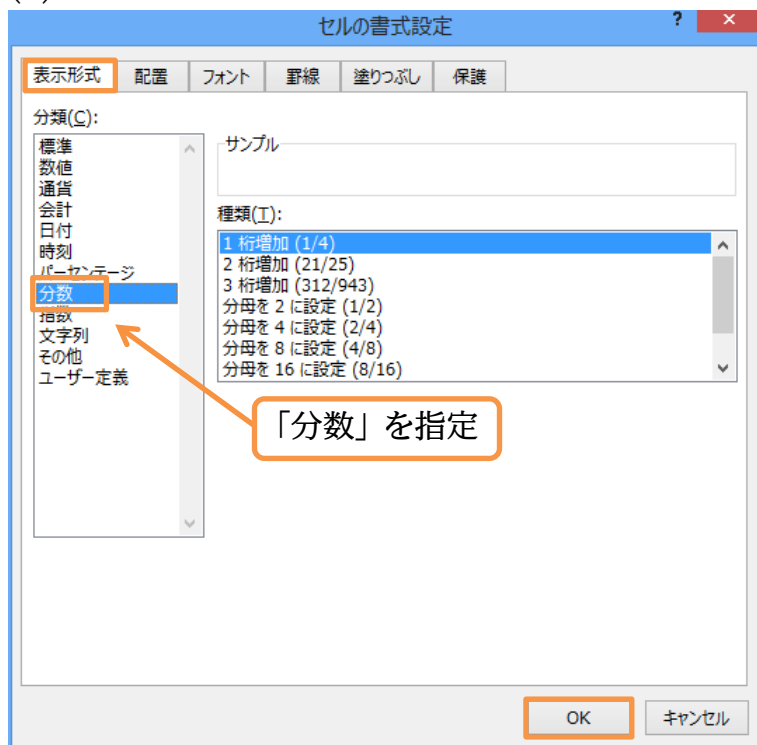
セル H3 は消去

- (3) 分数の入力時には、先に表示形式を設定します。H3:H6 に対して表示形式の設定をします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース	販売ホール数		
2		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		オレンジショコラ					
3		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイショート					
4		細川	1.51	10分00秒	10.00		アップルパイ-half					
5		平均	1.48	09分41秒	09.63		ピーチパバロア					
6												
7												

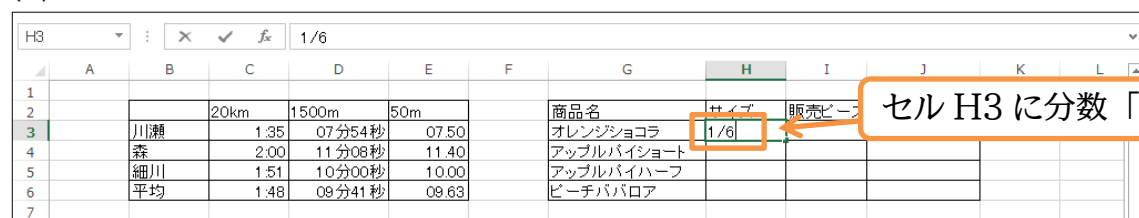
H3:H6 に対し表示形式の設定

(4) 「分数」を指定・OKします。

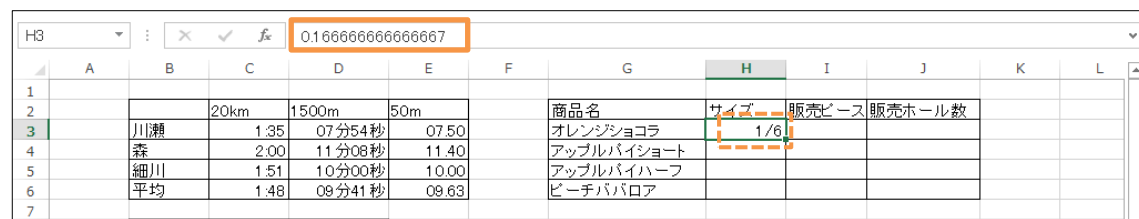


分数の入力時には先に表示形式の設定をする

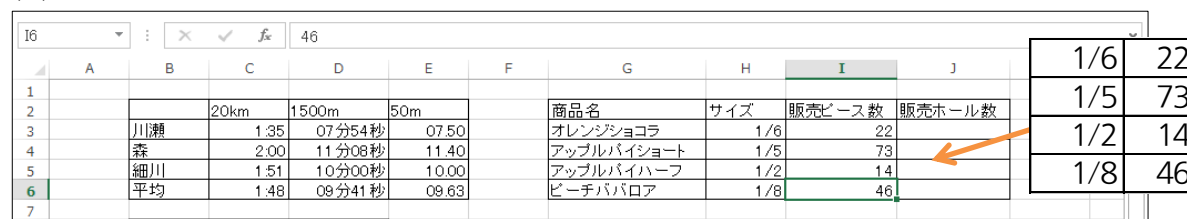
(5) 表示形式を設定後に再度セル H3 へ分数「1/6」を入力します。



(6) H3 の内容を数式バーでチェックすると、「0.166666666666667」と小数で管理されていることがわかります。

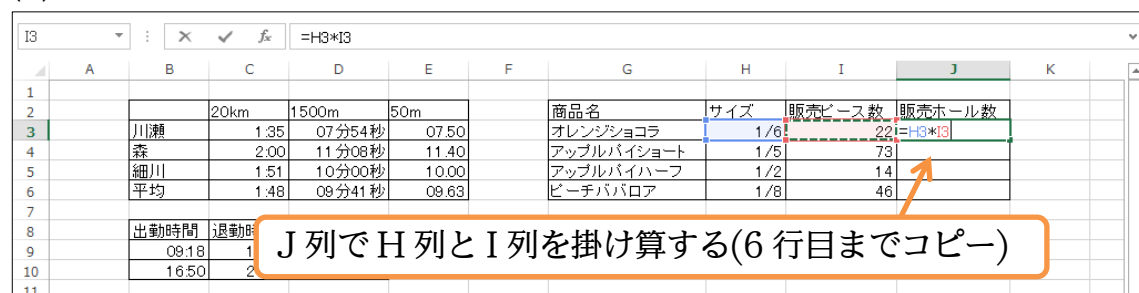


(7) それでは H 列と I 列へ以下のように入力してください。



§ 2-6…分数の表示形式

(1) J 列には H 列と I 列を掛け算した結果を表示してください。



- (2) J 列において、帯分数が作成されました(小数値で表示された場合は「分数」の表示形式を適用する)。整数部分と分数部分が揃っています。この形式では分数部分がない場所にもスペースが作成されています。これを表示形式の設定で詰めてみます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース数	販売ホール数	
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		オレンジショコラ	1/6	22	3 2/3	
4		森	2.00	11分08秒			アップルパイショート	1/5	73	14 3/5	
5		細川	1.51	10分00秒			アップルパイハーフ	1/2	14	7	
6		平均	1.48	09分41秒			ピーチババロア	1/8	46	5 3/4	

J3:J6 に表示形式の設定

- (3) 帯分数の基本形式は「# ?/?」です。ただし「?/?」では分数部分がない場合にスペースが作成されてしまいます。整数で完結する場合に分数用の空白を作成しない場合には「# #/#」を使います。つまり帯分数では「# #/#」とします。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

種類(I):

ユーザー定義の表示形式「# #/#」を指定

標準: 3 2/3

ユーザー定義: # #/#

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

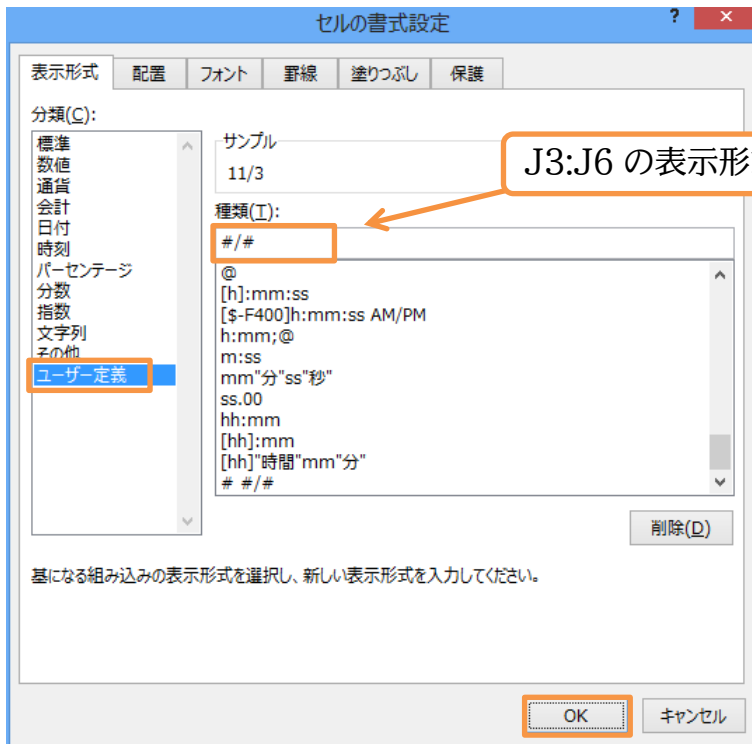
OK キャンセル

基本の帯分数形は「# ?/?」

- (4) 分数部分がない数値の空間が削除されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース数	販売ホール数	
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		オレンジショコラ	1/6	22	3 2/3	
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイショート	1/5	73	14 3/5	
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		アップルパイハーフ	1/2	14	7	
6		平均	1.48	09分41秒	09.63		ピーチババロア	1/8	46	5 3/4	

(5) 今後は仮分数にしてみます。分子が分母より大きくても整数部を作成しないのです。その場合は「#/#」とします。



(6) なお整数部分は表示されないため、割り切れる場合は「○/1」で表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			20km	1500m	50m		商品名	サイズ	販売ピース数	販売ホール数	
2							オレンジショコラ	1/6	22	11/3	
3		川瀬	1.35	07分54秒	07.50		アップルパイショート	1/5	73	73/5	
4		森	2.00	11分08秒	11.40		アップルパイハーフ	1/2	14	7/1	
5		細川	1.51	10分00秒	10.00		ピーチババロア	1/8	46	23/4	
6		平均	1.48	08分41秒	08.63						

§ 2-7…「？」を使った表示形式

(1) 「Sheet2」に以下のような表を作成してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		講習日	ルーム	座席数	予約数	残席	予約率1	予約率2	予約率3	
3		2013/10/5	中会議室	1248	956					
4		2013/10/5	大会議室	1872	1795					
5		2013/10/7	中会議室	1248	630					
6		2013/10/7	大会議室	1872	552					
7		2013/10/10	中会議室	1248	325					
8		2013/10/10	大会議室	1872	415					
9										

(2) F列には「座席数-予約数」、G~I列には「予約数÷座席数」の同じ計算式を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		講習日	ルーム	座席数	予約数	残席	予約率1	予約率2	予約率3	
3		2013/10/5	中会議室	1248	956	292	0.766026	0.766026	0.766026	
4		2013/10/5	大会議室	1872	1795	77	0.958868	0.958868	0.958868	
5		2013/10/7	中会議室	1248	630	618	0.504808	0.504808	0.504808	
6		2013/10/7	大会議室	1872	552	1320	0.294872	0.294872	0.294872	
7		2013/10/10	中会議室	1248	325	923	0.260417	0.260417	0.260417	
8		2013/10/10	大会議室	1872	415	1457	0.221688	0.221688	0.221688	
9										

(3) F 列に「残り ○○」と表示させてみます。表示形式の設定をします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		講習日	ルーム	座席数	予約数	残席	予約率1	予約率2	予約率3				
3		2013/10/5	中会議室	1248	956	292	0.766026	0.766026	0.766026				
4		2013/10/5	大会議室	1872	1795	77	0.958868	0.958868	0.958868				
5		2013/10/7	中会議室	1248	630	618	0.504808	0.504808	0.504808				
6		2013/10/7	大会議室	1872	552	1320	0.294372	0.294372	0.294372				
7		2013/10/10	中会議室	1248	325	923	0.260417	0.260417	0.260417				
8		2013/10/10	大会議室	1872	415	1457	0.221688	0.221688	0.221688				

F3:F8 で表示形式の設定

(4) 「残り 0」のユーザー定義表示形式を設定しましょう(「0」の前に半角のスペースを入れる)。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

種類(T):

"残り" 0

G/標準

0

0.00

#,##0

#,##0.00

#,##0.00

*#,##0 ;_*-#,##0_ ;_*"-_ ;_*@_

*#,##0.00 ;_*-#,##0.00_ ;_*"-??_ ;_*@_

**#,##0 ;_**#,##0_ ;_**"-_ ;_*@_

**#,##0.00 ;_**#,##0.00_ ;_**"-??_ ;_*@_

#,##0;-#,##0

#,##0;[赤]-#,##0

削除(D)

OK 閉じる

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

「残り 0」のユーザー定義表示形式を設定

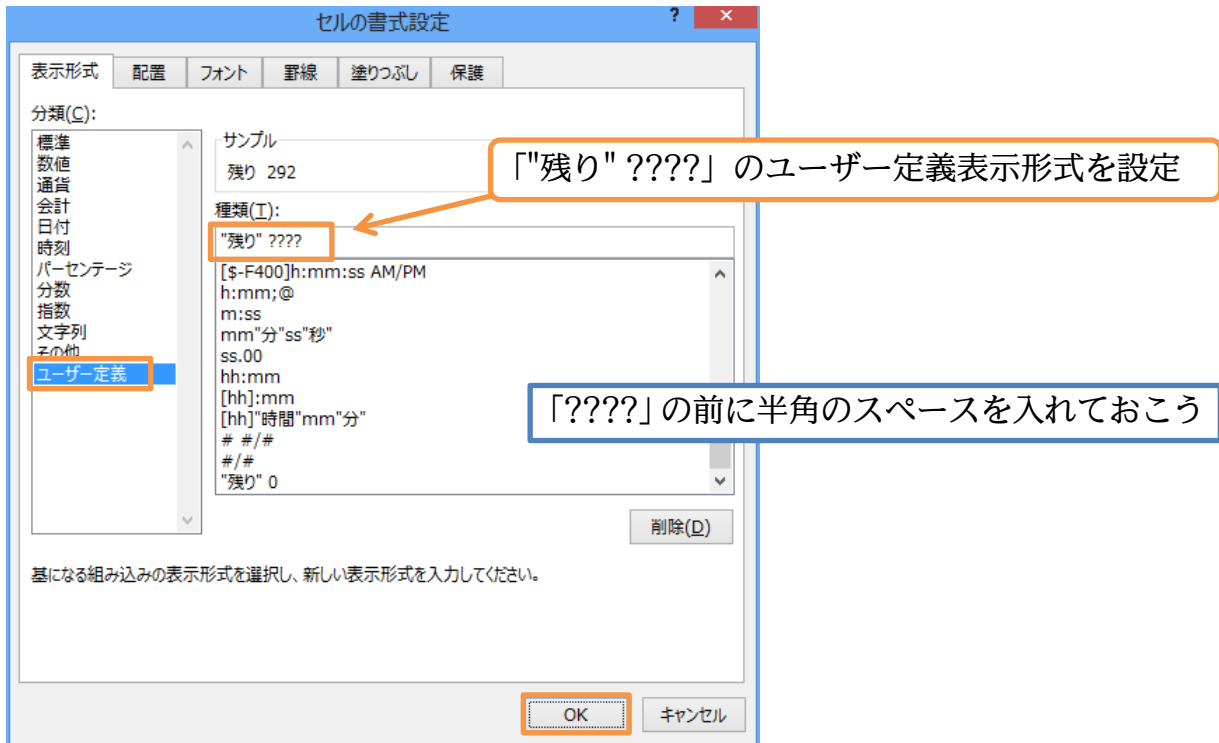
「0」の前に半角のスペースを入れる

(5) F 列の数値は桁が異なるため、「残り」の位置が揃いません。数値の部分をも 4 桁に揃えるにはどうすればよいのでしょうか？表示形式を再設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		講習日	ルーム	座席数	予約数	残席	予約率1	予約率2	予約率3				
3		2013/10/5	中会議室	1248	956	残り 292	0.766026	0.766026	0.766026				
4		2013/10/5	大会議室	1872	1795	残り 77	0.958868	0.958868	0.958868				
5		2013/10/7	中会議室	1248	630	残り 618	0.504808	0.504808	0.504808				
6		2013/10/7	大会議室	1872	552	残り 1320	0.294372	0.294372	0.294372				
7		2013/10/10	中会議室	1248	325	残り 923	0.260417	0.260417	0.260417				
8		2013/10/10	大会議室	1872	415	残り 1457	0.221688	0.221688	0.221688				

再度 F3:F8 で表示形式の設定

(6) 数値をすべて 4 桁幅に揃えます。足りない場合は空白にします。このようなケースでは「0」や「#」の代わりに「?」を使います。使いたい幅の分だけ「?」を設定するのです。4 桁分設定しましょう。



(7) 「?」を 4 つ指定したので、3 桁以下の場合は 4 桁に合わせるよう空白が挿入されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		講習日	ルーム	座席数	予約数	残席	予約率1	予約率2	予約率3				
3		2013/10/5	中会議室	1248	956	残り 292	0.766026	0.766026	0.766026				
4		2013/10/5	大会議室	1872	1795	残り 77	0.958868	0.958868	0.958868				
5		2013/10/7	中会議室	1248	630	残り 618	0.504808	0.504808	0.504808				
6		2013/10/7	大会議室	1872	552	残り 1320	0.294872	0.294872	0.294872				
7		2013/10/10	中会議室	1248	325	残り 923	0.260417	0.260417	0.260417				
8		2013/10/10	大会議室	1872	415	残り 1457	0.221688	0.221688	0.221688				

(8) 再度 F3:F8 で表示形式の設定をします。今度は桁区切りカンマを入れます。その場合は 3 桁目の前に半角のカンマを入れます。

